

生活デザイン学科 専門科目の履修の流れ

生活デザイン学科 学習・教育目標

これからの地域社会をみすえ、コミュニティや社会制度・産業経済のあり方を再考・共創する地域計画学（Community and Social Planning：C系）を共通基盤とする。
 そのうえで、福祉や自立・共助生活など、くらしのしきみを整える「福祉まちづくり（Welfare Community Design）」系と、住宅・インテリア・Quality of Placeなどの「住環境デザイン（Living Environment Design）」系のいずれかに軸足をおき、学習・探究を深めていく。

必修科目

選択必修科目

選択科目

科目群の学習・教育目標

地域計画学
 C: Community and Social Planning

これからの、とくに東北地方を見すえた地域計画の中心的なテーマとして、地域自治、共助、防災、景観・観光といった側面に関心をよせて基礎知識を身につけ、地域の成立と課題および解決手法について考える。

福祉まちづくり系
 W: Welfare Community Design

地域資源を活かし、経済社会を活性化させる産業計画分野と、多様な生活者の心身に寄り添い自立を促す社会福祉・生活科学分野からなる。くらしの安全・安心を成り立たせる「しきみ」を理解し、次世代のためこれらを再構成する力を養う。

住環境デザイン系
 L: Living Environment Design

インテリア・住宅・都市といった生活空間に関心をもち、地域住環境の改善や空間創出を図る住居デザイン学分野と、これらを成り立たせる建築工学分野からなる。地域に根ざした健やかで豊かな生活の場を創出するためのデザイン力、表現力を身につける。

演習・実習・研修科目群

実践的な課題を通して、安全安心に資する生活作法、研究手法、表現手法を学び、具体的課題への実践的な状況改善デザインを探究する。

設計・造形科目群

住宅・中小規模地域施設等の建築環境設計に関する基礎的能力を涵養する。

キャリア形成科目群

社会で求められる基本的な学力・知識・解決力を養うとともに、より具体的な職場を想定し、専門家の講話や就職支援事業等への積極的な参画等を通して、就業に対するモチベーションを高め、適応力を身につける。

